



とくしま林業アカデミーで講座を行いました

徳島署と四国森林管理局では、今年3月四国森林管理局、徳島県、徳島県森林づくり推進機構との間で締結した人材育成連携協定に基づき、とくしま林業アカデミーの学生を対象に出前講座を行いました。7月24日にはコンパス測量の実習と製図を、8月1日には局業務管理官による「新たな森林管理システム」と題した講義を行いました。この出前講座は、今年度から始めた取組みで、これらのほかに今後、林野庁の施設としてはじめてCLTによる庁舎整備を進めている嶺北(れいほく)森林管理署庁舎整備の見学会を9月に予定しています。徳島森林管理では、関係機関が取組人材育成に積極的に支援していきます。



H30.7.24 コンパス測量実習



H30.7.24 コンパス測量実習



江坂業務管理課長の講義



真剣に聴講する学生



多くの方が参加



職員による森林環境教育

山の日イベントで森林環境教育を実施

徳島署では、8月11日の「山の日」に開催された「はじめての山登り講座」(徳島県主催)において、はじめて山登りに参加した県内の親子22名を対象に「森林(もり)のはたらき」をテーマに森林環境教育を行いました。リフトを利用して中腹までたどり着いた参加者は、剣山頂まで歩道沿いに咲く植物の説明を受けながら、約1時間をかけ山頂を目指しました。その後、徳島署をはじめ3機関から山、森林、環境などに関する講座に真剣に耳を傾けていました。また、徳島署長が、飯泉徳島県知事ら県幹部に対し、平成29年度から剣山自然休養林で取り組んでいる歩道修・東屋修理や多言語看板設置などについて説明しました。



H29年度整備した歩道などを県知事に説明



飯泉知事に説明する署長

サルナシの実の活用に向けた取組

徳島署では、三好地域の「木の文化」の象徴である祖谷のかずら橋等の架け替え資材であるシラクチカズラの資源管理に三好市、香川大学農学部と連携し取り組んでいます。実を活用し地域振興に資することにも取り組んでいます。三好市にある旧県農業試験場池田分場には、昭和63年頃に旧西祖谷山村小祖谷地区で採取した種木を挿し木により実の繁殖用として定植・管理していることが分かり、8月1日片岡香川大学副学長が視察し、今後の管理方法、サルナシの実の活用方法などについて、県三好農業支援センターと意見交換を行いました。徳島署では、今後農業分野の関係機関とも連携しつつ、サルナシの実の活用に取り組んでいきます。



片岡学長の現場視察



サルナシの実



昭和63年から繁殖している株



かずら橋(過去に撮影)



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

